

<令和5年10月定例記者会見>

1 開催日時

令和5年10月5日（木）午後1時30分～午後2時

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

盛岡タイムス社、岩手ケーブルテレビジョン、朝日新聞、岩手日報社

4 発表事項

冒頭に武田市長から、体操の南一輝選手（市在住）が第52回世界選手権男子団体総合で日本代表チームのメンバーとして金メダルに輝いたことを紹介。

(1) 滝沢市 IPU イノベーションフォーラム 2023inTOKYO の開催について（企業振興課）

令和5年10月19日（木）15時00分から、東京のTKP秋葉原カンファレンスセンターにおいて、「滝沢市 I P U イノベーションフォーラム 2023 i n T O K Y O」を開催します。

このフォーラムは、滝沢発の新たなビジネスの創出や人材育成を推進するため、産学官連携、企業間連携、異業種連携等のきっかけを作るためのヒントと交流の場を作ることを目的に、イノベーションセンターで開催していたフォーラムを東京で開催するものであり、東京での開催は平成27年度以来、約8年ぶりとなります。

本フォーラムでは、滝沢市 I P U イノベーションセンター及びパークにおける今後の整備の在り方や、岩手県立大学との連携について知ってもらい、首都圏の企業や岩手出身の若者をはじめ、多くの方々と交流し、若手技術者の交流及び企業誘致、ひいては将来の移住へと繋げることを目的としております。

また、岩手県立大学 鈴木厚人（すずきあつと）学長より、さらなる産学官連携を目的とした、「企業学群構想」についてお話しいただきます。

フォーラム終了後には交流会を予定しており、各企業等との交流を図ります。

(2) 令和5年度滝沢市福祉ボランティアまつりについて（地域福祉課）

滝沢市福祉ボランティアまつりを10月21日土曜日、午前10時からビッググループ滝沢を会場に開催いたします。

このまつりは、「みんなでつくるバリアフリーのこころ」をテーマに、福祉関係機関や団体、ボランティアグループなどが、日頃の活動内容や成果の発表、障がい者等の理解を深めるための体験・展示を行い、地域住民が障がいへの理解を深めるとともに身近な地域での福祉活動への積極参加を呼び掛けることを目的としています。なおこの事業は、地域生活支援事業のなかの理解促進研修・啓発事業として障がいのある方への理解を深めるため、滝沢市より社会福祉協議会へ委託しているものです。

4年ぶりの開催となる今回、会場内では、誰でも気軽に触れることができるニュースポーツ体験コーナーや、お子様連れで楽しめるこども福祉縁日のコーナー、参加団体による飲食品販売コーナーなどがあり、皆さまにお楽しみいただける内容となっております。

滝沢市と日本赤十字社岩手県支部滝沢市地区ではこのまつりに共催しており、ボランティアの皆さんとともに、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

詳しくは、主催の社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会（電話 019-684-1110）へお問い合わせください。

（３）キッズ健幸アンバサダー養成講座の開講について（健康づくり政策課）

この度、市内の小中学校でキッズ健幸アンバサダー養成講座を開講しますのでお知らせします。

この事業は、有識者とオリンピック・パラリンピアンが講師となり、児童生徒に健康維持の大切さ、スポーツのすばらしさや楽しさを伝え、健康づくりの伝道師である「キッズ健幸アンバサダー」を養成するものです。キッズ健幸アンバサダーに就任した子どもたちは、学んだことを家族などの身近な人に伝え、一緒に運動を続けることで、家庭や地域に健康づくりの輪を広げていきます。

授業の一環とすることで、運動が得意な子・苦手な子にもスポーツに触れる機会を提供し、児童生徒の運動リテラシーを向上させることも目的のひとつです。

開講日と実施校ですが、10月30日（月）柳沢小中学校の全児童生徒対象に5・6校時の1回、10月31日（火）滝沢小学校6年生対象に3・4校時と5・6校時の2回に分けて実施します。

この養成講座では、運動指導の講師としてオリンピックとパラリンピアン2人をお招きします。オリンピックは陸上競技女子マラソン2大会連続のメダリスト有森（ありもり）裕子（ゆうこ）さん、パラリンピアンは車椅子ラグビーの三（み）阪（さか）洋行（ひろゆき）さんです。

有識者として10月30日は筑波大学人間総合科学学術院 久野（くの）譜也（しんや）教授と（株）つくばウエルネスリサーチ副社長で保健師の塚（つか）尾（お）晶子（あきこ）さん、10月31日は（株）つくばウエルネスリサーチ 海老原（えびはら）隼（じゅん）紀（き）さんが講義を行います。

なお、オリンピック・パラリンピアンを招いて開講するキッズ健幸アンバサダー養成講座は、岩手県内では本市が初となります。

（４）「2023芸術祭たきざわ」の開催について（文化振興課）

この芸術祭では、市民の皆さんの優れた文化芸術活動成果を発表し、広く市民の皆さんに芸術鑑賞の機会を提供することで、滝沢市の芸術文化振興を図ります。

11月3日から11月13日までの期間中、演劇、舞踊・芸能、音楽・ダンス、展示の発表をビッグルーフ滝沢にて開催します。

また、市内小中学校作品展を展示部門と同時開催いたします。たくさんの皆さまのご来場をお待ちしております。

（５）市有馬「滝姫」の仔馬の名前の決定及び命名式の開催について（観光物産課）

滝沢市で所有している農用馬の「滝姫」が令和5年5月22日に出産した第7子について、名前を公募しておりましたが、選考の結果「鈴音（スズネ）」と決定しましたので

発表いたします。

この度の公募には、県内のみならず、大阪府や愛知県からもたくさんの応募が寄せられ、遠くは熊本県からの応募もありました。応募総数は417件となっており、いずれも愛情あふれる名前でありました。これほど多くの皆さんに、愛情と関心を持っていただいていることに、大変嬉しく感じております。

「鈴音（スズネ）」の考案者は、5名いらっしゃいましたが、今後開催する命名式にもご参加いただきたいと考えております。命名式の詳細は、下記のとおりです。

また、先月の定例記者会見で発表しましたとおり、ふるさと納税の推進及びチャグチャグ馬コの継承を目的として、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを現在実施しております。いただいた寄附金は、市有馬「滝姫」及び「鈴音」の飼養管理にも活用されます。このほか、装束馬の派遣事業など、馬コ行事当日以外にも馬が活躍できる場を創出したいと考えております。

皆様の温かいご支援どうぞよろしくお願いいたします。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：冒頭に市長からお話があった南一輝さんについて、市で何か催しなどを企画する予定はありますか。

市長：滝沢市在住の南一輝さんについてですが、これまでも所属団体の皆さんにはビッグルーフでランポリンの指導をしていただいているところです。機会を見て、南選手とも相談をしながら、どういった場が提供できるか検討していきます。まずは南選手の予定など様々な調整をしながら、検討したいと思っていました。

記者：イノベーションフォーラムが8年ぶりに開催とのことですが、その経緯を教えてください。

経済産業部長：前回開催は平成27年で、第2イノベーションセンターができて2年目ということで、誘致やさらなる連携を目的に東京で開催し、様々な方にイノベーションセンターを知ってもらおうというのが平成27年の開催の経緯です。それ以降も開催しようとはしていたのですが、コロナなどもあり、イノベーションセンターでフォーラムを開催するのも3年ぶりです。今回の開催のきっかけはコロナの5類感染症への移行で、よりさまざまな交流をしていながら、イノベーションセンターの活動を強化していきたいという点と、岩手県立大学でも「企業学群構想」ということで、大学とイノベーションセンター・パークにいる企業との連携を深める構想もあります。これを契機に全国的に、様々な方にイノベーションセンターを知ってもらいたいという思いです。

記者：健幸アンバサダー養成講座について、先日「ママもまんなか」プロジェクトのお話があったと思いますが、そちらと何か関わりがある事業なのでしょうか。

健康づくり政策課長：「ママもまんなか」子育てプロジェクトと、健幸アンバサダー養成講座については、直接的な関わりはありません。ですが、健幸アンバサダーについても、「ママもまんなか」に関わっていただいている筑波大学の久野教授の「健康づくりは口コミによる草の根的な活動が有効である」という考え方のもと始まったものです。

元々健幸アンバサダーは成人向けでしたが、今回はその子ども版として、学校で正

しい食事や運動に関することなどを授業として学んで、家に帰ってから家族に伝えることで、家族みんなが健康になっていくだろうという取り組みです。

記者：「鈴音」についてですが、これまでも市有馬から子供が生まれた際は名前の公募をしていたのですか。

観光物産課長：初代の市有馬「校伯」の子「伯鈴」が生まれた際も公募で名前を決めています。

記者：市有馬に子どもが生まれた場合は基本的には公募で名前を決めているということでしょうか。

観光物産課長：生まれた子が雄であれば市場で売るなどしていたので、「伯鈴」以降は公募していません。今回「鈴音」は雌であったため、次につなげていこうということで名前を公募したものです。

記者：鈴音の誕生日は5月22日とのことですが、チャグチャグ馬コへの参加は最短でいつになりますか。今年には出ていなかったのですか。

観光物産課長：今年には母親が係留馬だったので、一緒に参加しています。装束を付けて歩くのにはあと2年ほどかかるのではないかと思います。

記者：2025年の馬コぐらいには、ということですね。

観光物産課長：そうです。

記者：鈴音という名前について、市長の所感をお願いします。

市長：市民憲章にも「鈴の音響く～」とあり、そういったところも意識しながら、非常に響きもよいです。これから鈴の音をしっかりと鳴らせるような元気な子に育ててほしいという願いを込めて、みんなで選びました。

記者：キッズ健幸アンバサダーについて、今回の対象は柳沢小中と滝沢小学校の児童・生徒のみですか。今後何年間で何人に増やしたいなどの予定はありますか。

健康づくり政策課長：今年度は2校で計150人程度になっています。今後の計画としては、毎年1～2校で実施しすべての学校を回るようにしたいと考えておりますが、予算の状況にもよるので、来年度以降について確実なお答えはできない状態です。

記者：資料中に「県内初」とありますが、オリンピック・パラリンピックを招いての開催が県内初ということですか。そもそもこの講座自体が県内初ということですか。

健康づくり政策課長：オリンピック・パラリンピックを招いての開催が県内初です。オリンピック・パラリンピックを招かない養成講座は、昨年度も小学校3校で開催しています。

6 その他記者からの当日質問

記者：前回の会見時には県知事選の結果が出ていなかったもので、今回結果を受けての市長の所感と、先日の知事の所信表明を聞いての感想をお願いします。

市長：候補者の2人は、選挙戦を通じて県内を回り、各地域でいろんな声を聞いたと思います。私も県議選・市議選の前に県内を歩いてみた経緯があり、風景がどんどん変わってきているところを達増知事も見てきたと思います。人の声以上に、地域が抱えている課題というのは風景に表れていると感じました。今回所信表明の中で「新たな

世界を」とありましたが、まずは県民が一緒になって新たな世界を感じられるように、今後も期待しているところです。

記者：南選手の話も先ほどありましたが、滝沢市出身でプロ野球に行った齋藤響介選手選手が、先日プロ初先発で4回無失点という好投でしたが、そのことについて市長の所感をお聞かせください。

市長：県出身のプロ野球選手はたくさんいると思いますが、選手の活躍を見て、子供たちには努力することや1つ上の世界に行くことなど、目的をもってスポーツをすることで、様々なものを得られるということをぜひ感じてほしいと思っています。齋藤選手には、滝沢市に帰ってくる機会があればぜひ様々なところでお話をいただければと思っていますし、特にも子どもたちとの交流を期待しているところです。

記者：南選手について、市として市民栄誉賞や名誉市民など、そういったものを考えていますか。

市長：市としては一度特別表彰をしています。今後、パリオリンピックでの活躍も特にも期待しておりますので、その場面での活躍に対して、新たに検討していけたらと思っています。さらなる飛躍を期待して、今後の支援を検討していきます。

記者：盛岡市の内館新市長も就任から1か月が経過しましたが、武田市長との交流は何かありましたか。

市長：本日盛岡地区衛生処理組合の議会があり、内館市長には副管理者に就任いただきました。その際に現在議会中なので、それが終わったらぜひ色々お話ししたいというお話をいただきました。今はまだ色々お忙しいと思いますので、もう少し落ち着いたら、改めてこちらからお伺いしたいなと考えています。

記者：県議選の滝沢選挙区で当選した3人についてですが、もともと武田市長も県議だったことから、後継とも言える人たちだと思いますが、何か期待することはありますか。

市長：3名の方々は、地域が抱える課題や、市民が感じていることを、おそらく選挙戦を通じて色々感じたことと思います。これからの人口減少であったり、UターンやIターンを含めた若者定住など、どうやって岩手県を盛り上げていくか、また今後進む高齢化社会など、まだまだ克服しなければいけない課題があります。何より滝沢市や雫石町が抱える道路整備の課題などもあります。様々な課題を一緒になって考えながら、県あるいは国に提言していけるように、3名の方々とは連携していきたいと考えています。

記者：その3名と話したりする場の予定はありますか。

市長：予定はありませんが、年末・年始など節目では色々連携を図り、濃密な関係づくりながら、市として抱える課題の解決に向けて一緒にやっていきたいと思っています。

記者：「鈴音」の選定はどなたによるものですか。

観光物産課長：最終決定者は武田市長です。

記者：クラウドファンディングの進捗を教えてください。

観光物産課長：125件、151万円です（10月5日現在）。